英語2　説明を聞いて、考えとその理由を話す

英語の授業で、ニュージーランドから来た留学生が環境問題についてのプレゼンテーションをしています。その発表やスライドの内容をもとにして、あなた自身の考えとその理由を英語で伝えましょう。1分間話す内容を考えたあと、30秒で話してください。メモを取ってもかまいません。それでは、プレゼンテーションを聞きましょう。

（スクリプト）

Do you buy plastic bags at the store?　Or, do you use eco bags?　Look at this picture. There are many plastic bags in the sea.　It is a serious problem today.　Now, look at this.　I was really surprised to see this because over 25 % of people in Japan buy plastic bags at stores.　In New Zealand, stores do not sell plastic bags and we take eco bags.　Some people may say plastic bags are becoming more eco-friendly, but I recommend stores in Japan should stop selling plastic bags.　What do you think?

1．出題の趣旨

社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかをみる。

「社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す」とは、社会的な話題に関して聞いて分かった情報を活用し、聞き手に話して伝えることである。その際、既習の表現などを駆使しながら、自分自身の考えや気持ちを理由などとともに話して伝えることが重要である。

本問では、社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことができるかどうかを把握するために、環境問題についてのプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を伝える問題とした。

■学習指導要領における領域・内容

話すこと［発表］

ウ　社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
2			（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 ①　話し手の意見に対する自分の考えを伝えている。 ②　①の理由について伝えている。 （正答例） ・I like your idea.　Many people in Japan use plastic bags.　We must change our actions to protect the environment like people in New Zealand. ・I don’t agree with you because a lot of stores in Japan sell eco-friendly plastic bags.		
		1	条件①、②を満たし、正確な英語（語や文法事項等の誤りがない）で解答しているもの	0.4	◎
		2	条件①、②を満たし、おおむね正確な英語（コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがない）で解答しているもの （正答例） ・I agree with you.　Today a lot of people have eco-bag.　We don’t need plastic bags at store. ・I don’t think so.　I hope stores keep to sell plastic bags because we don’t always have eco-bags.	3.7	○
		3	条件①、②を満たして解答しているが、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項等の誤りがあるもの	1.3	
		4	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	13.1	
		5	条件①に触れずに、与えられた話題について自分の考えのみを解答しているもの	7.5	
		6	条件①、②を満たさないで解答しているもの	50.0	
		99	上記以外の解答	5.1	
		0	無解答	18.8	
			正答率	4.2	

２．分析結果と課題

○　正答率は 4.2%である。社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すことに課題がある。英語「話すこと」調査問題に関する質問に「聞いたことを理解し、話す内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかった」と回答した生徒は、41.1%である。解答類型６の反応率が 50.0%と高いことからも、自分の考えやその理由を話すための基本的な表現が身に付いていないことが考えられる。

○　準正答（解答類型２）の具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
・I think so, too.　We should use eco-bag.　This is a good for the earth.

このように解答した生徒は、英語の表現に関して、冠詞の誤り、名詞の単数・複数形の誤りなど一部不正確な表現は見られるが、文構造の誤りはなく、聞き手に伝わる英語で話して

いる。

○　解答類型３の具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
・Your idea good.　I think stop selling plastic bags too.　Plastic bags is dangerous in the nature.

このように解答した生徒は、主語や動詞の脱落、文構造の誤りなどコミュニケーションに支障をきたすような誤りがあるため、考えとその理由を話しているが、基本的な語や文法事項等を理解して話すことに課題があると考えられる。

○　解答類型４の具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
・I think stop selling plastic bag is good idea.　Because I don’t buy plastic bags.
・I think so that the plastic bag is useful.

このように解答した生徒は、話し手の意見に対する自分の考えを話しているが、その理由を話すことに課題があると考えられる。

○　解答類型５の具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
・We should buy eco bag.　Plastic bag is not environment.
・My idea is stop selling plastic bags because plastic bag is very useful.

このように解答した生徒は、話し手の意見に対する自分の考えを話しておらず、与えられた話題について自分の考えのみを話している。このことから、話し手の意見を把握することができていないと考えられる。

○　解答類型６の具体的な例としては、以下のようなものがある。

（例）
・26.2% people in Japan buy plastic bags.
・I’m surprised.
・We are buy eco bag.

このように解答した生徒は、話し手の意見に対する自分の考えを話しておらず、与えられた話題についてグラフの説明や自分の感想のみを話している。または、自分の考えとその理由を話すために必要な表現が身に付いていないと考えられる。

３．学習指導に当たって

聞いたことを基に自分の考えとその理由を話すことができるようにする

聞いたことを基に自分の考えとその理由を話す際には、話される内容を理解した上で、聞いて得た知識や情報について自分の考えやその理由を整理し、既習の表現などを活用して相手に伝わるように話すことが重要である。

指導に当たっては、以下のような言語活動に取り組むことが考えられる。

- 聞いて得た知識や情報のメモを基に、内容を口頭で要約して伝えたり、自分が一番印象に残った内容や興味をもった情報を伝えたりする活動
- 聞いたことについてなぜそのように考えたのか、感じたのか、簡単な理由や根拠、例示などを伝えたり質問したりする活動

言語活動を行う際には、次のような点に留意した指導を行うことが大切である。

○　複数の領域を統合した言語活動の充実を図る

授業において複数の領域を統合した言語活動を充実させることが求められる。本問のような聞いたことについて話す活動だけでなく、読んだことについて話す活動や、聞いたり読んだりしたことについて書く活動など、様々な形で複数の領域を統合した活動を行うことが考えられる。これらの活動を通して、聞いたり読んだりしたことに対して自分の考えをもつことができるように指導することが大切である。また、領域を統合した活動を行う際には、活動の観察と合わせて、生徒の振り返り等を活用して、生徒の課題がどこにあるのかを把握し、適切な指導を行うことが重要である。英語を理解することに課題があるのか、英語を理解することはできているが表現することに課題があるのかを把握し、適切な手立てを講じることが重要である。

○　メモの取り方や活用の仕方についての指導を行う

聞いたことを基に考えとその理由を話す際には、話される内容を理解した上で、自分の考えをもつことができるようにする必要がある。そのために、聞いたり読んだりして得た知識や情報をメモにしたり、図式化したりすることが有効である。日頃の授業から、聞いた内容についてキーワードを書いたり、書いたキーワードや語句を図式化したり、作成したメモに自分の考えを書き込んだりするなど、メモの取り方についても指導することが大切である。その際、複数のメモを比較したり、実際にメモを基に発表し合ったりするなどして、目的に応じたメモとなるようにするには、どのような点に留意すべきかを取り上げるなどの工夫も考えられる。

（参照）
「平成 31 年度（令和元年度）【中学校英語】指導事例集（指導資料）」pp. 8−14
https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou/eigo/pdf/eigo_Case02.pdf
「平成 31 年度（令和元年度）【中学校英語】指導事例集（映像資料）」
https://www.youtube.com/watch?v=hqhMbgUHN18&list=PLGpGsGZ3lmbAbGfZZwU97FF58qfuBTUxC&index=2

○　聞いたり読んだりしたことについて、生徒自身の考えを述べる指導を行う

日頃の授業から聞いたり読んだりしたことを基に生徒が自分の考えや気持ちを述べる機会を設定することが大切である。話されたり書かれたりした英文について、内容を確認するだけでなく、その内容と関連させて生徒自身のことを尋ねたり、内容に対する生徒の考えを尋ねたりすることが考えられる。これらのことを継続的に行うことで、生徒が自分の考えをもち、それを述べる機会を充実させる。また、様々な言語活動を行う際に、自分の考えだけではなく理由を考えさせたり、必要に応じて生徒の発話に対して理由を尋ねたりすることなどを継続的に指導することが必要である。

○　言語活動と合わせて発話の正確さを高めるための指導を行う

既習の表現を活用して相手に伝わるように話すことができるようにするためには、言語活動と合わせて、必要に応じて言語材料について理解したり練習したりするなど、発話の正確さを高めるための指導を行うことが大切である。伝えようとしたことが相手に伝わっているか、十分に伝わっていない場合には、どのような表現であればよりよく伝えることができたのかとい

った視点で、生徒自身が話した内容を振り返る時間を設定する。その際、ペアやグループで話し合ったり、クラス全体で振り返りの内容を共有したり、必要に応じて発話の正確さに焦点を当てた指導や練習を行ったりすることが考えられる。言語活動と言語材料について理解したり練習したりするための指導との往還を工夫することで、よりよく伝えることにつなげるような指導とすることが大切である。

※「発話の正確さを高めるための指導」の具体例については、本報告書の pp. 88–89 を参照。

授業アイディア例

「聞いたことを基に自分の考えや理由を話す力を育成するための学習過程」

1．コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を把握する → 2．話し手の意見を聞き、要点を捉える → 3．自分の考えとその理由を整理する → 4．意見交換をし、自分の考えを再構築する

1．コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を把握する

A student in New Zealand sent me a video of a speech he made about an environmental problem. First, listen to the speech and then tell me what he asked you to do.

教師

Do you buy plastic bags at the store? Or, do you use eco bags? Look at this picture. There are many plastic bags in the sea. It is a serious problem today. Now, look at this. I was really surprised to see this because over 25 % of people in Japan buy plastic bags at stores. In New Zealand, stores do not sell plastic bags and we take eco bags. Some people may say plastic bags are becoming more eco-friendly, but I recommend stores in Japan should stop selling plastic bags. What do you think?

The speaker wants to know my opinion about selling plastic bags.

ポイント 聞くことを通して、話し手が何を求めているかを把握し、活動に見通しをもつことが大切です。

2．話し手の意見を聞き、要点を捉える

自分の考えをもたせるために、話し手の考えを述べている箇所やその理由について話されている箇所を聞くように促す。

What does the speaker want to say?

The speaker says, “Stores in Japan should stop selling plastic bags.”

Why does the speaker think so?

えーっと…

What did he say about plastic bags? Please listen to the speech again, and try to understand what he says about plastic bags. You can take notes.

《メモの例》

話し手の考え

Stop selling plastic bags!

海に たくさんビニール袋
Japan → 25% buy
N.Z. → not sell
エコバッグ使う

ポイント
- 何を聞き取ればよいか明確にするとともに、自分の考えや理由を整理するためにメモを取りながら聞くように指導することが大切です。
- 話し手の主張を捉えるだけでなく、その根拠や理由を確認することも大切です。

《再びプレゼンテーションを聞く》

Did you get it?

There are many plastic bags in the sea. It is a serious problem today.

That’s right. That’s why he suggests stores in Japan should stop selling plastic bags.

3. 自分の考えとその理由を整理する

自分の立場を明らかにするとともに、その理由を述べることができるようにする。

《加筆したメモの例》

話し手の考え

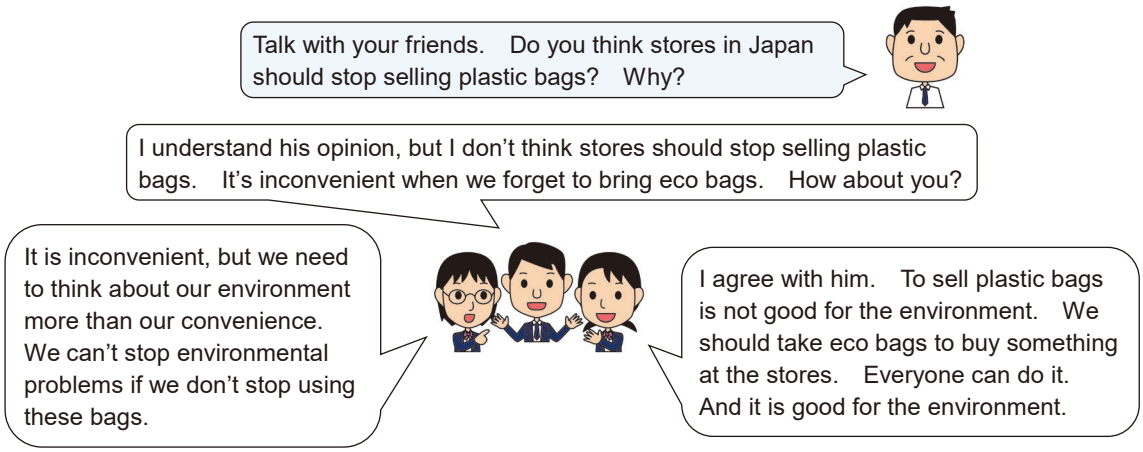
Stop selling plastic bags! → agree

海に たくさんビニール袋
Japan → 25% buy
N.Z. → not sell
エコバッグ使う
→ fish can't live

ポイント

- メモに自分の考えやその理由を加筆させるなど、生徒がメモを活用して自分の考えを整理することができるように支援します。
- 自分の意見を主張する際には、相手の意見に対して、賛成・反対の立場を明らかにしたり、相手の主張する内容と関連させて、自分の考えやその理由を述べたりすることが大切です。
- 賛成でも理由が違う場合があったり、反対でも理解できる部分があったりします。生徒一人一人の多様な意見を認め合うことが大切です。

4. 意見交換をし、自分の考えを再構築する



反対する表現例

I understand his opinion, but …

I disagree with his idea because…

ポイント

ペアやグループで互いの意見や理由を聞き合い、話し手の意見に対する自分の意見をどのように表現すればよいか、どのような内容が賛成、反対それぞれの理由になるかなどを整理し、生徒が考えを再構築するのを支援します。

【活用のポイント】

○ 日頃から、意見交換をする際には一方的に自分の考えを伝えるだけでなく、相手の意見を踏まえて自分の考えを述べることができるよう意識させます。

○ １人１台端末等を用いて自身やペア活動の様子を動画で記録し、振り返り活動を充実させます。自らのパフォーマンスを内容面と言語面の両方から見直し、改善や修正を促すことで、会話を発展させたり言語使用の正確さを高めたりしていくことができます。

※出典等

環境問題についてのプレゼンテーションは、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会ウェブページの「プラスチック対策」を参考にした。